

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	161.57
	GBP/USD	AUD/USD			
TKY 9:00AM	161.46	1.0749	173.56	1.2688	0.6670
SYD-NY High	161.96	1.0817	174.48	1.2776	0.6733
SYD-NY Low	160.76	1.0736	173.51	1.2679	0.6664
NY 5:00 PM	161.72	1.0788	174.42	1.2744	0.6706
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	39,308.00	▲ 23.85	日本2年債	0.3500%	▲0.0100%
NASDAQ	18,188.30	159.54	日本10年債	1.1000%	0.0200%
S&P	5,537.02	28.01	米国2年債	4.7058%	▲0.0447%
日経平均	40,580.76	506.07	米国5年債	4.3211%	▲0.0758%
TOPIX	2,872.18	15.56	米国10年債	4.3538%	▲0.0818%
シカゴ日経先物	40,705.00	400.00	独10年債	2.5575%	▲0.0490%
ロンドンFT	8,171.12	49.92	英10年債	4.1690%	▲0.0790%
DAX	18,374.53	210.47	豪10年債	4.4390%	0.0090%
ハンセン指数	17,978.57	209.43	USDJPY 1M Vol	9.54%	▲0.27%
上海総合	2,982.38	▲ 14.64	USDJPY 3M Vol	9.45%	▲0.23%
NY金	2,369.40	36.00	USDJPY 6M Vol	9.82%	▲0.21%
WTI	83.88	1.07	USDJPY 1M 25RR	▲0.80%	Yen Call Over
CRB指数	294.02	1.67	EURJPY 3M Vol	8.85%	▲0.20%
ドルインデックス	105.40	▲ 0.32	EURJPY 6M Vol	9.25%	▲0.18%

東京	東京時間のドル円は161.46レベルでオープン。特段大きな材料も見えない中、日中にかけて底値を切り上げていった。前日高値である161.74を超えてからはさらに一方的な展開になり、161.94レベルで海外に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、161.94レベルでオープン。161円台後半でもみ合う展開で変わらずの161.93レベルでNYに渡った。オプション市場でのボラティリティが昨日比で明確に下がったことが話題となっており、162円を目前に暫くのもみ合いを見る向きがあるようだ。なお本日ポーランド中銀が政策発表をし、予想通り政策金利を据え置いた。
ニューヨーク	海外市場のドル円は161円台後半でスタート。日本株高や、米金利高の展開を横目に、ドル円はじり高で推移し、161.93レベルでNYオープン。朝方に発表された米新規失業保険申請件数と失業保険継続受給者数が共に予想より悪化すると、市場はドル売りで反応し、161.60付近まで下落。続いて発表された米6月ISM非製造業景況指数ヘッドラインも予想を下回ると、ドル売りが一段と強まり、160.76まで続落。その後は売り一巡となり、161.40付近まで徐々に値を戻す。午後に発表された米6月FOMC議事録では、「インフレ鈍化の確信得るための追加情報を待つべき」と利下げを巡り慎重な姿勢が示された事を受け、161.75まで買い戻され、161.72レベルでクローズ。一方、海外市場のユーロドルは1.07台半ばでスタート。独金利の上昇を眺めながら、小幅上昇し、1.0758レベルでNYオープン。午前中は先述の冴えない米経済指標の結果を受け、ドルが売られる中、1.0817まで上伸。その後は米金利が下げ幅を縮小する動きが上値を抑え、1.08台ちょうど付近まで反落。午後は小幅反落し、1.0788レベルでクローズ。

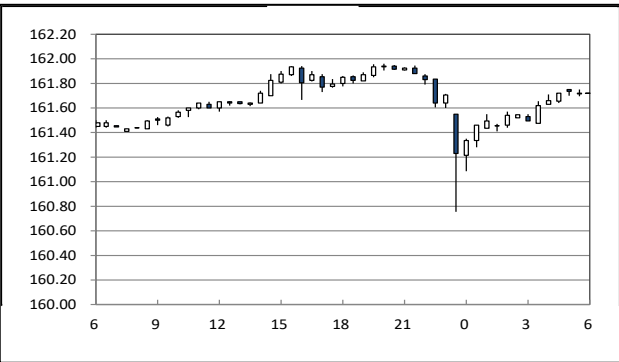
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
7月3日	10:30	豪 小売売上高(前月比)	5月 0.6%	0.3%
	18:00	欧 PPI(前月比/前年比)	5月 -0.2%/-4.2%	-0.1%/-4.1%
	20:00	米 ウィリアムズ・NY連銀総裁 講演	-	中立金利上昇の兆候なし
	21:15	米 ADP雇用統計	6月 150k	165k
	21:30	米 新規失業保険申請件数	29-Jun 238k	235k
	23:00	米 製造業受注(前月比/除輸送)	5月 -0.5%/-0.7%	0.2%/
	23:00	米 耐久財受注(前月比/除輸送)・確報	5月 0.1%/-0.1%	0.1%/-0.1%
	23:00	米 ISM非製造業景況指数	6月 48.8	52.7
7月4日	03:00	米 FOMC議事要旨	12-Jun	インフレ鈍化示す追加情報を待つ

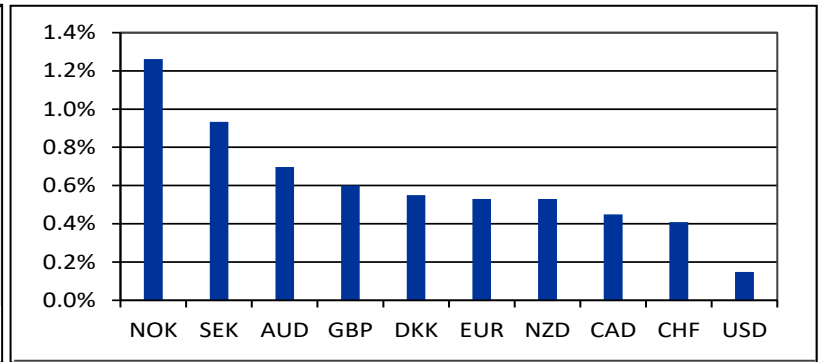
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
7月4日	15:00	独 製造業受注(前月比)	5月 0.5%	-0.2%
	20:30	欧 ECB議事要旨	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	160.50-162.50	1.0750-1.0850	173.50-175.00

【マーケット・インプレッション】

昨日のドル円は東京時間にじりじりと上昇する展開から161.95まで上昇するも、米国時間に発表された経済指標が軒並み弱い結果となり下落。米6月ISM非製造業発表直後に急落する展開となるもその後は買い戻され往ってこいの展開となった。

昨日発表された米6月ADP雇用統計が事前予想を下振れ、米ISM非製造業は業況感と新規受注が下落した結果となった。また、発表されたFOMC議事録においては、「インフレ鈍化を示すデータ待ち」という意見で一致しており、まさに昨日の経済指標の結果はインフレ鈍化を示す結果の一助となった。ただし、引き続きドル円においては円売り地合いの流れは変わっておらず、明日発表の米6月雇用統計を控えて様子見姿勢が強まると思われる。本日のドル円は米国祝日であることから流動性乏しく、161円半ばでのみ合いの展開を予想する。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。